

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 8日

事業所名 みらいスイッチ小城

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0	法令を遵守したスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	4	1	0	法令で必要とされる数の職員を配置をしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	0	5	他の部屋から運動療法室への出入りの際、段差があるためスロープを設置している。	玄関口に段差（階段）があります。安全性を確認しながら、スロープなどの設置については検討していきます。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	0	個々の目標及び評価については、定期的（月に1度）に面談を行い、課題等を明確にしながら、業務を遂行するようにしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	2	今回初めて、保護者等からの事業所評価を行う。	実施したアンケート結果やご意向をもとにミーティングを行い、業務改善に繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	1	今回初めて、事業所として自己評価を行い、結果を公開する。	自己評価の結果をもとに、ミーティングを行い、共通理解を図るとともに改善についても協議を図っていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	1	4		現在、第三者による外部評価の予定はありません。必要に応じて実施を検討していきたいと思えます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	0		
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	2	1	計画期間ごとに行うアセスメントの中で出てきたニーズや課題を基に、個別支援計画を作成している。	標準化されたアセスメントツールというものは使用していません。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	0	活動プログラムについては、担当を決めて立案→提案する形をとっている。	今後も同様の形で進めていながら、計画的に取り組んでいきたいと思えます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	0		・全体的な課題については取り組んでいるが、きめ細やかな課題という点については十分ではないので、検討をしていきたいと思えます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	0	朝は必ずミーティングを行い、当日の内容などを確認するようにしている。	個々の支援内容まで確認することが少ないので、今後は取り組んでいきたいと思う。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	0	支援終了後、必ず打ち合わせを行い、その日の振り返りをしていま	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	0	評価表を作成し記録している。全員についての記録が十分であるとはいえないが、支援の検証・改善については積極的に話し合いを行っている。	継続して取り組んでいきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4	1	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0	児童発達支援管理責任者が会議に出席し、内容については後日職員間で共有している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	1	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	2		現在、該当する利用者がいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	4	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	5	0		現在、該当する利用者がいません。そのような場合は、情報提供に努めます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	0	4		今後積極的に専門機関と連携を図り、資質 向上の研修も受けていきたいです。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	0	4		今後は必要に応じて検討したいと考えています。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	5	0	0	地域の障害者総合支援協議会に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1	0		
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	1	4			

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0	相談や悩みの連絡があった場合は、できるだけ助言などを行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	1	4		・開催時期や時間、難点などを考慮しながら検討していきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	0	月に1度お便りを送付している。またSNSも活用し、情報発信をしている。	
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0	児童のファイルは鍵付きのキャビネットに保管し、情報を持ち出さないように徹底している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	イベント時はお便り準備物を周知したり、情報伝達している。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	0	5			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	4	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	11月に火災避難訓練を実施。3月に地震を想定した避難訓練を行う予定。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	虐待防止マニュアルをもとに研修を行った。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	0	やむを得ず身体拘束を行うか、研修などを通して共通理解した。また、該当する利用者には、個別支援計画にその旨を記載し、説明・了承を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	1	4		現在のところ、食物アレルギーについて、医師の指示書が必要な利用者はいません。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	0	作成してファイリングし、スタッフが手に取れるところで管理し、情報共有している。		